委員会視察報告

・建設産業常任委員会

浦伊三次（委員長）・伊藤千代子・笹栗純夫・堀田勉・田原耕一・小島忠義・中村進

●沖縄県うるま市

■企業立地

企業立地促進基本計画が策定されており、集積区域はうるま市全域で、集積業種は製造関連産業・情報通信産業・観光およびリゾート関連産業とされている。特別自由貿易地域が設けてある所では、製造した商品を県外および国外へ出荷する場合、助成制度が設けられていることに驚かされた。

うるま市での視察の様子

●沖縄県本部町

■海を生かした観光行政（ブルーツーリズム）

指定管理者制度で管理運営を行っている「もとぶ元気村」という施設があり、マリンスポーツやイルカによるセラピーなどを行っている。今後も、追い込み漁の復活や廃校などを利用したブルーツーリズム事業も計画しているとのこと。まさに海を生かした観光のまちづくりを目の当たりにした。

イルカセラピーなど、さまざまな施設がある「もとぶ元気村」

●沖縄県那覇市

■まつりと観光行政

「那覇ハーリー」をはじめとした4大祭りなど、さまざまな祭りやイベントが年間をとおして行われている。すべてが実行委員会方式で開催されており、運営にあたる方々はボランティアである。郷土を愛し、交流の場に積極的に参加する感覚を持つ人が多いことに感心した。地域の伝統文化を活用し、住んで良かった、住んでみたい、というまちづくりをめざしたい。

・議会運営委員会

井上健作（委員長）・三嶋俊蔵（副委員長）・中村隆光・寺﨑強・谷口一成・浦伊三次・有田継雄・吉村勝

●三重県伊賀市

■議会基本条例

議長の諮問機関である「議会の在り方検討委員会」で住民との意見交換会、タウンミーティング・パブリックコメント、議会内論議を経て、平成19年3月議会で市としては全国初となる議会基本条例が制定された。

市民に開かれた議会・市民参加を推進する議会に向け、糸島市では執行部の反問権、議員相互間の自由討議、議員定数など今後も慎重に研究、検討する必要がある。

●兵庫県丹波市

■議会改革

調査特別委員会などを設置し活発な論議が展開されている。市民アンケートについては回収率が非常に低く判断に迷うものである。

■議会運営

委員会申し合わせおよび議会運営に関する基準が明文化されている。

●京都府綾部市

■議会基本条例

「公開と参加」をキーワードに、市民に開かれた身近で信頼される議会をめざし、市民との協働のまちづくりの推進を目的として議会基本条例が制定された。平成22年7月に制定し、現在問題点の把握に努めている。

■議会改革

政務調査費の使途基準・費用弁償・決算審査の在り方・議員定数の見直しなど、議会改革推進委員会を設置し検討会議を重ねている。

綾部市での視察の様子

請願の審議結果

3月定例会で審議した請願は2件です。
今定例会における審議結果は、左のとおりです。

不採択

●幣の浜周辺の松林保全について（継続審査分）

●請願者
福高観光開発株式会社
芥屋ゴルフ倶楽部
代表取締役
高倉 矢一郎　他3名

●審査報告
この請願は、松林保全のため薬剤の空中散布による害虫駆除作業ができるよう市に協力を求めるもので、継続審査となっていました。
委員会の審査の中で、「空中散布の是非や住民の理解に不明なところがある」などの意見とともに、「保全の必要性は認めるが、一度審査を打ち切るべきである」との考えが示され、委員会・本会議ともに不採択と決しています。

採択

●綿打川周辺の浸水対策並びに中心市街地の活性化策の一環とした市道丸田南本町線の道路拡幅に関する請願

●請願者
南本町行政区
区長
大塚 貞美　他1名

●審査報告
昨年7月の集中豪雨により、多くの住宅や店舗に浸水の被害が発生し、多額の費用負担を強いられました。このような状況の下、地域の住民と商店主が一丸となり安心して生活できるまちづくりをめざすとともに、中心市街地の活性化に向けて道路の拡幅を求める内容です。
採決の結果、委員会・本会議ともに採択と決しています。

その他の審議経過

議会案

今定例会に提案された議会案は、「意見書の提出」に関するものが2議案と「決議の提出」に関するもの1議案が議員提案により提出されました。

▼意見書案

●国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書

●労働者派遣法の抜本的な改正等を求める意見書

採決結果は2議案とも、否決となりました。

▼決議案

●東京電力福島第1原子力発電所事故に伴う原子力発電所事故における安全基準の見直し等に関する決議

採決結果は可決となりました。

臨時会

平成23年2月10日に第1回臨時会が開催されました。

ここでは、議案第1号教育委員会委員の任命については、同意。議案第2号糸島市住民生活に光をそそぐ基金条例について、および議案第3号平成23年度糸島市一般会計補正予算（第5号）は可決となりました。

編集後記

今3月定例会は、平成23年度一般会計当初予算案など38議案が、会期25日間にわたり慎重に審議され、可決されました。

合併直後の平成22年度当初予算は骨格予算であり、今回の当初予算が糸島市で編成する最初の本格予算です。このたび、その本格予算が可決され、いよいよ糸島市が施政方針の基本テーマ「"いとしま元気づくり"本格始動―超少子高齢社会への挑戦―」のもとで勢いよく動き始めることになります。本市議会としても、市民のみなさまのために、円滑な議会運営に努める使命の重さを感じずにはいられません。

また、今定例会より、前回の議会だよりでお知らせしておりました議会インターネット中継を開始し、「市民に身近な開かれた議会」の実現をめざしております。

今定例会期間中に発生した東日本大震災による地震、津波、原発の災害は、わが市でもすべてが起こり得る災害で、安心安全な暮らしのための防災計画の見直しは、重要な課題です。

被災地の方々にお見舞い申し上げ、一日も早い復興を願います。

議会広報委員会

次回の定例会は、6月1日（水）から開催の予定です。正式には5月末に決定し、ホームページや市役所窓口・公民館などでお知らせします。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。●問い合わせ：糸島市議会事務局 ☎(092)332-2084